

令和2年度畜産・酪農生産力強化対策事業(令和元年度補正)
繁殖性等向上対策事業〔技術力向上のための研修(畜産技術者の養成)〕

『個別型哺乳ロボットシステム』研修会

於；岩手大学 農学部附属 FSC 御明神牧場

開 催 要 領

1 目 的

(1) 事業目的

畜産・酪農の生産力強化を図るためには、地域の課題となっている繁殖性の向上や子牛の損耗防止等の技術的な問題を改善していくことが必要となる。

そこで、本事業では、先進的または高度な畜産技術を活用して地域の課題を解決できる畜産技術者を養成するため、繁殖性向上に係る技術を有し、研修会等の開催が可能な専門機関(畜産試験場、大学等)に協力を要請し、地域のニーズに即して行う実践的な研修会を開催する。

(2) 研修会目的

子牛の損耗防止に関する技術の中で、哺乳法は子牛の育成技術における中核であるが、子牛は飼養環境や各種ストレス、疾病への耐性が低く、個別別のより細やかな対応が求められる。近年普及してきた群飼型の哺乳ロボットは、哺乳作業の省力化、哺乳の精密化に資するが、日本の多数である中小畜産経営体では同時期に出生する子畜数が限られており、導入が難しく、子牛集団内での疾病の蔓延など課題も多くあった。最近開発された個別型哺乳ロボットは、授乳部がレールに沿って移動し、個別別に飼養されている子牛ペンに適用でき、群飼型の欠点を克服できるため、特に中小規模畜産経営において個別型哺乳ロボット技術を正しく利用する方法を学ぶことで、飼養技術の向上に役立ち、子牛の損耗等を防止することにつながる。

そこで本研修会では、岩手県内で先導的役割を担う生産者や畜産技術指導者を対象に、実際に黒毛和種子牛 10 頭超に対して個別型哺乳ロボットを適用している岩手大学御明神牧場の牛舎において実習を行い、個別型哺乳ロボットの使用状況や他農場における稼働試験結果と、実際に使用している飼養管理技術の高い生産者の飼養技術に関する情報を得ることによって、哺乳ロボットの扱い方を正しく理解し、子牛の損耗防止を図ることができる畜産技術者の養成に資する。

2 主 催 公益社団法人 畜産技術協会

3 開催日時及び場所

(1) 日 時 令和2年10月29日(木) 10:30~12:15 (10:00~受付)

(2) 場 所 国立大学法人 岩手大学 農学部附属
寒冷フィールドサイエンス教育研究センター(FSC)御明神牧場
(〒020-0581 岩手県岩手郡雫石町御明神大石野)

4 研修内容及び講師 (敬称略・順不同)

(1) 個別型哺乳ロボットと飼養管理データの高度活用による子牛の精密哺乳について(仮)
一條 俊浩 (岩手大学農学部共同獣医学科 准教授)

(2) 個別型哺乳ロボット活用の実際(仮)
桃田 優子 (岩手大学農学部 技術職員)

(3) 個別型哺乳ロボットの開発経緯と仕様について(仮)
安田 元 (オリオングループ 酪農事業本部 課長)

(4) 個別型哺乳ロボットの東北地方における普及状況について(仮)
立花 淳 (東北オリオン 酪農機械本部 副本部長)

5 募集要項 7名(岩手県内で個体別型哺乳ロボットを導入・普及指導しようとする者(初級))

- (1) 受講後営利目的なしに地域で指導できる者とする
- (2) 受講から1年後にアンケートにご回答いただける方

6 参加費用 研修会の受講料は無料

7 持ち物 作業着、帽子、**マスク等**

8 参加申込

受講をご希望の方は、10月15日(木)必着、別紙「研修会申込書」に必要事項をご記入の上、E-mail(申込書をメールに添付)で事務局あて事前申し込みをお願いします(FAX不可・当日参加不可)。

なお、締め切り後、選考ののちメールにて受講の諾否を通知いたしますので、受信用メールアドレスを必ずご記入ください。

9 申込先 公益社団法人 畜産技術協会 担当: 管理部 企画課 渡邊、氏里

TEL : 03-3836-2301 E-mail : oubo@jlta.jp

10 その他

防疫の関係上、受講者は10月14日(水)以降、海外に渡航、滞在せず、10月26日(月)から研修終了までの期間、他の畜産関係施設等に立ち入らないようお願いします。また、普段農場で使用している衣服、長靴等の持ち込みはご遠慮ください。防護服、長靴はこちらで準備いたします。サイズを申込書にてお知らせください。

11 新型コロナウイルス感染症対策として下記にご協力をお願いいたします

1 受付にて非接触型体温計による検温と手指の消毒を実施いたします

2 下記に該当する方はご出席をご遠慮ください

- ① 発熱症状(37度以上)のある方
- ② ご家族に発熱症状(37度以上)のある方
- ③ 2週間以内に発熱や感冒症状で医療機関を受診された方
- ④ 2週間以内に新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者と認定された方

3 受講中はマスクの着用をお願いいたします

4 受講中に体調不良になった場合は、近くのスタッフに速やかに申し出てください

5 会場は感染症対策を十分に行いますが、万が一、出席者の中に感染者が出た場合には、本会からその他の出席者に対して連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡いたします。

また、濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の養成が行われる可能性があることをご理解願います。

6 受講にあたり、受講生の皆様には「自己責任」による参加とし、万一新型コロナウイルス感染症に感染された場合も本会及び岩手大学農学部は責任を負いません。

受講予定の方は、感染防止対策に万全を期していただきますようお願い申し上げます。

【協会からのお知らせ】

研修会開催要領、参加申込書につきましては、当協会ホームページでもダウンロードが可能です。

また、今後の研修会につきましても、ホームページで随時更新予定です。

公益社団法人畜産技術協会 HP : <http://jlta.lin.gr.jp/> News&Topics をご確認ください。

皆様のご参加をお待ちしています！

タイムスケジュール

【令和2年10月29日(火)】

[敬称略]

時間	項目および内容	場所
10:00～ 10:30	受付	岩手大学農学部御明神 総合施設学生玄関
10:30～ 11:00	個体別型哺乳ロボットと飼養管理データの高度活用による子牛の精密哺乳について 岩手大学農学部共同獣医学科 准教授 一條 俊浩	御明神牧場牛舎
11:00～ 11:15	個体別哺乳ロボットの開発経緯と仕様について オリオングループ 酪農事業本部 安田 元	御明神牧場牛舎
11:15～ 11:30	個体別型哺乳ロボットの東北地方における普及状況について 東北オリオン 酪農機械本部 立花 淳	御明神牧場牛舎
11:30～ 11:45	個体別型哺乳ロボット稼働状況の視察	御明神牧場牛舎
11:45～ 12:00	個体別型哺乳ロボット活用の実際～質疑応答 岩手大学農学部 桃田 優子	御明神牧場牛舎
12:00～ 12:15	アンケート回収～解散	御明神牧場牛舎

※ 時間は多少変更になることがあります

※ 場所と連絡先: 岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育センター(FSC)御明神牧場

〒020-0581 岩手県岩手郡雫石町御明神大石野 電話 019-692-3031、メール hirata@iwate-u.ac.jp